

知床の窓から見えるもの

2022年3月22日（火曜日）

今回の記事を担当させて頂くのは、同じ系列の医療機関から転勤して参りました臨床工学技士です。

昨年4月より羅臼に来まして、もうすぐ1年が経過しようとしております。北海道は四季がはっきりしていますが、羅臼は特に季節の移り変わりを身近に感じることが出来ると考えています。釣りや写真などの趣味をお持ちの方は、これ以上ない環境ではないでしょうか？

雪解けとともに魚釣りのシーズンがスタートします。川でのニジマスや、北海道にしか生息していないオシロコマなど、診療所のすぐ裏の川で良く釣れます。（ただし熊には注意です！）

海ではホエールウォッチングの観光船が出ていて、運が良ければシャチの大群やクジラに出会え、北方領土の国後島をバックに写真に納める事が出来ます。



秋には鮭が帰ってきて、夜明けと共に河口には多くの釣り人が並びます。有名ポイントまで 15 分ほどで行けますので、出勤前に一勝負も可能です。

羅臼の象徴である、羅臼岳に雪が積もり始めると、厳しい冬がまもなく訪れます。今年は羅臼も雪が多く、一晩に 70 cm以上積もり、風除室のドアを開けると腰の高さ以上に雪が積もっており、しばし呆然としてしまいました。

2月に入ると流氷が見られ、国後島までびっしりと流氷で覆われる姿は感動的です。



羅臼岳



流氷に覆われる羅臼港と国後島

この様に、診療所でご自分のキャリアを生かしながら、自然の中に新たな出会いが待っている羅臼町は、魅力あふれる町です。昨年には町政 120 年を迎え、厳しい自然の中で生活を営んでこられた町民の方に敬意を持ちながら、楽しく 1 年過ごすことが出来ました。羅臼町に興味がある医療関係者の方は、ぜひ一度見学にいらして下さい。ご自分の人生で、新しい発見ができる事は間違いのないと思います！